

読響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

ハーモニート
横たわる。
色彩が
聞こえる。

YNSO Subscription Concert No. 648

Tuesday, 27 May 2025, 19:00 Suntory Hall

TADAAKI OTAKA, Conductor

HISATADA OTAKA: Eine Symphonische Phantasie "Steppe" op. 19

BRUCKNER: Symphony No. 9 in D minor, WAB109 (Cohrs edition)

日本を代表する名匠が、亡き父に捧げてブルックナー 9番を振る！

尾高 忠明 名誉客演指揮者 —— 尾高 尚忠：交響的幻想曲「草原」 —— ブルックナー：交響曲第9番 ニ短調 WAB109(コールス校訂版)

読売日本交響楽団 第648回 定期演奏会 —— 2025年5月27日(火)19:00 サントリーホール —— S¥8,800 A¥7,700 B¥6,600 C¥5,500 SOLD OUT —— 読響チケットセンター 0570-00-4390(10時-18時・年中無休)

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団 助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会 協力：アフラック生命保険株式会社

円熟味の増す名匠・尾高忠明。

遙か地平に響きを疾駆させる「草原」、
亡き父に想いを馳せるブルックナー9番！
初夏の夜は深く濃く佇む。

5月の《定期演奏会》では、77歳を迎えた尾高忠明が指揮台上がる。我が国の芸術分野において最も栄誉ある日本芸術院の会員となった日本を代表する名匠だ。1992年から98年まで読響の常任指揮者を務め、現在は大阪フィルの音楽監督として充実した指揮活動を続けている。奇をてらわずに飽くまで自然体で、作品を俯瞰しつつ黙々と深めていく音楽性が、演奏家と観客の双方から多くの共感を生んでいる。近年、小澤征爾をはじめ、外山雄三、飯守泰次郎、秋山和慶らの訃報が続き、尾高の一歳年上の井上道義の引退などもあり、熟達のマエストロへの期待が更に高まっている状況と言えるだろう。

今回のプログラムは、尾高が全身全霊を込めたものだ。メインに演奏するのは、尾高が近年力を注いでいるブルックナー作品から、最後に遺した交響曲第9番。作曲家で指揮者だった父・尾高尚忠が39歳で亡くなる直前に、日本交響楽団（現N響）との最後の《定期演奏会》で取り上げたのがブルックナーの

第9番だった。終演後、尚忠は「ブルックナーさん良かったね。天国へ行けて」と涙を浮かべて語っていたと、忠明は母から聞かされたという。ブルックナーが死の直前まで書き、神に捧げたような崇高さを持ち、諦観した宇宙が広がる作品だ。忠明が、父への思いなどを胸に、この“天国に最も近い交響曲”でどのような世界を築くのか、ご注目いただきたい。

前半には、その父・尚忠が32歳で作曲した交響的幻想曲「草原」を取り上げる。尚忠は、1930年代にウィーンで作曲と指揮を学び、ベルリン・フィルを指揮するなど活躍。帰国後、戦中・戦後を通して日本のクラシック音楽界の発展に大きく寄与した。「草原」は、尚忠が第2次世界大戦中の43年に、モンゴルの大草原や遊牧民に着想を得て書いた作品で、西欧への興味だけでなく、アジアや日本のルーツへのコスモポリタンな視点を持ったもの。忠明は、壮大なスケールを持つ父の作品に並々ならぬ思いを込めるだろう。

尾高 忠明 名誉客演指揮者

国内外の名だたる楽団と共演を重ねてきた日本を代表する名匠。1947年生まれ。桐朋学園大学、ウィーン国立アカデミーで学んだ後、東京フィル常任指揮者に就任。BBCウェールズ響首席指揮者を務め、多くの英国音楽を手がけた。読響では92～98年に第6代常任指揮者を務め、現在は名誉客演指揮者の地位にある。札幌響音楽監督、メルボルン響首席客演指揮者、新国立劇場オペラ芸術監督を歴任。現在は大阪フィル音楽監督、N響正指揮者、紀尾井ホール室内管桂冠名誉指揮者。2021年から「東京国際指揮者コンクール」審査委員長を務めている。大英勳章CBEを受章し、英国エルガー協会からは日本人初のエルガー・メダルを授与された。サントリー音楽賞、有馬賞、北海道文化賞、大阪文化祭賞など受賞多数。21年秋には、旭日小綬章を受章。25年3月から日本芸術院の会員となった。

読響日本交響楽団 第648回 定期演奏会

2025年5月27日(火) 19時開演

サントリーホール

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥8,800 / A ¥7,700 / B ¥6,600 / C **SOLD OUT**

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

■学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。
■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合がございます。 ■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。
■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。 ■読響ホームページ <https://yomikyo.or.jp/>

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時～18時・年中無休

読響チケットWEB <https://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017